

経済好循環シミュレーション (補正予算25兆円版)

補助金削減と25兆円規模の効率的財政支出がもたらす相乗効果

作成者: exomusot.com

政策の概要：二本柱のアプローチ

本シミュレーションは、「無駄な補助金の見直し・削減」（今回は5兆円と仮定）による財政健全化と、「補正予算による25兆円規模の効率的な財政支出」を同時に行う二本柱の政策を前提としています。非効率な支出を削り、その財源をより乗数効果の高い成長分野へ再投資することで、単なる支出以上の経済効果（相乗効果）を生み出すことを目指します。

25兆円

効率的な財政支出
(補正予算案)

5兆円

無駄な補助金の削減
(シミュレーション仮定)

相乗効果のメカニズム

1. 補助金削減
(5兆円)



2. 財源の確保と
財政規律の向上



3. 効率的支出
(25兆円)

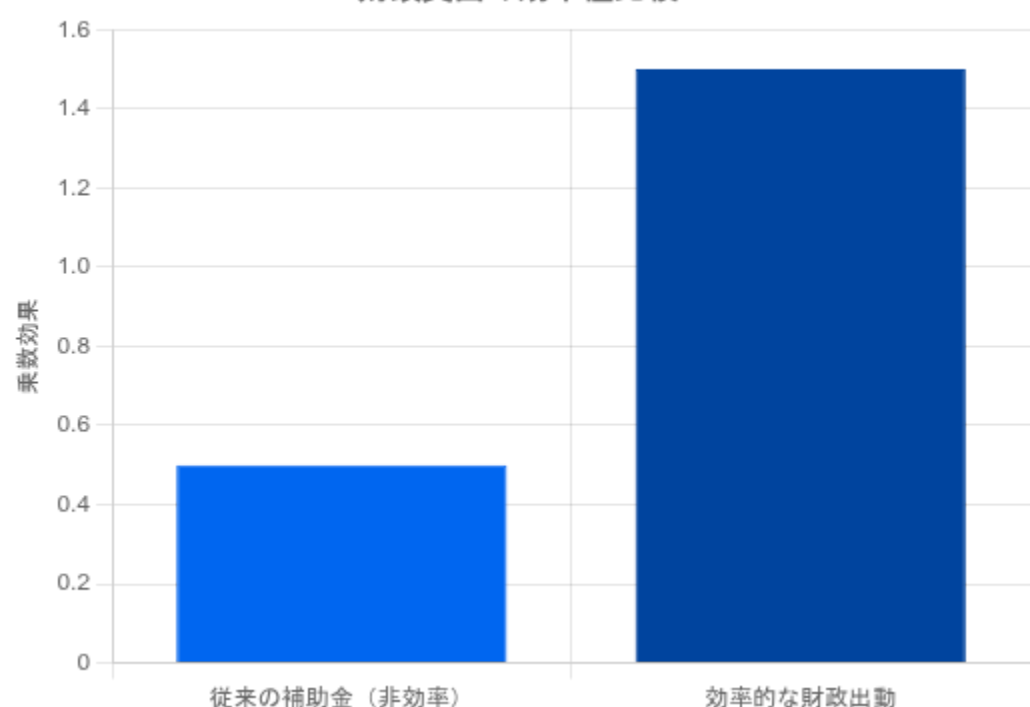


4. 経済全体の
相乗効果

鍵となる「効率性」：財政乗数の比較

経済効果の鍵は「財政乗数」（政府支出1単位がGDPをどれだけ増やすか）にあります。従来の非効率な補助金の乗数を0.5、新たな効率的支出（GX/DX、人への投資など）の乗数を1.5と仮定。支出の「質」の転換が、純粋な支出額以上のインパクトを生み出します。

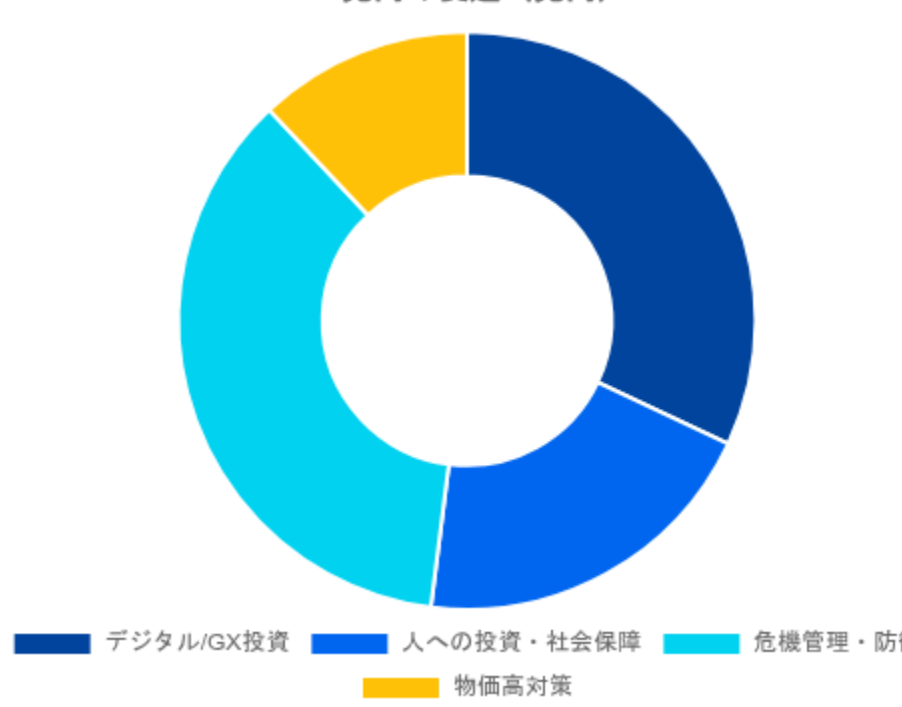
財政支出の効率性比較



25兆円の使途（シミュレーション）

効率的な財政支出の使途として、成長分野への集中投資と危機管理・防衛を重視して仮定します。デジタル化（DX）、グリーン化（GX）、人的資本への投資、そして防衛・危機管理が経済の潜在成長力を高め、安全保障を強化します。

25兆円の使途（兆円）



マクロ経済へのインパクト試算

財政乗数の差を考慮すると、政策全体の純粋な経済効果（GDP押し上効果）は、支出の純増額（25兆 - 5兆 = 20兆円）を大きく上回ると試算されます。これが民需（個人消費・設備投資）を強力に喚起します。

+35兆円

実質GDP押し上効果（試算）

+28兆円

民需喚起効果（試算）

実質GDP成長軌道の変化（予測）

実質GDP軌道予測



家計へのプラス効果：1世帯あたり

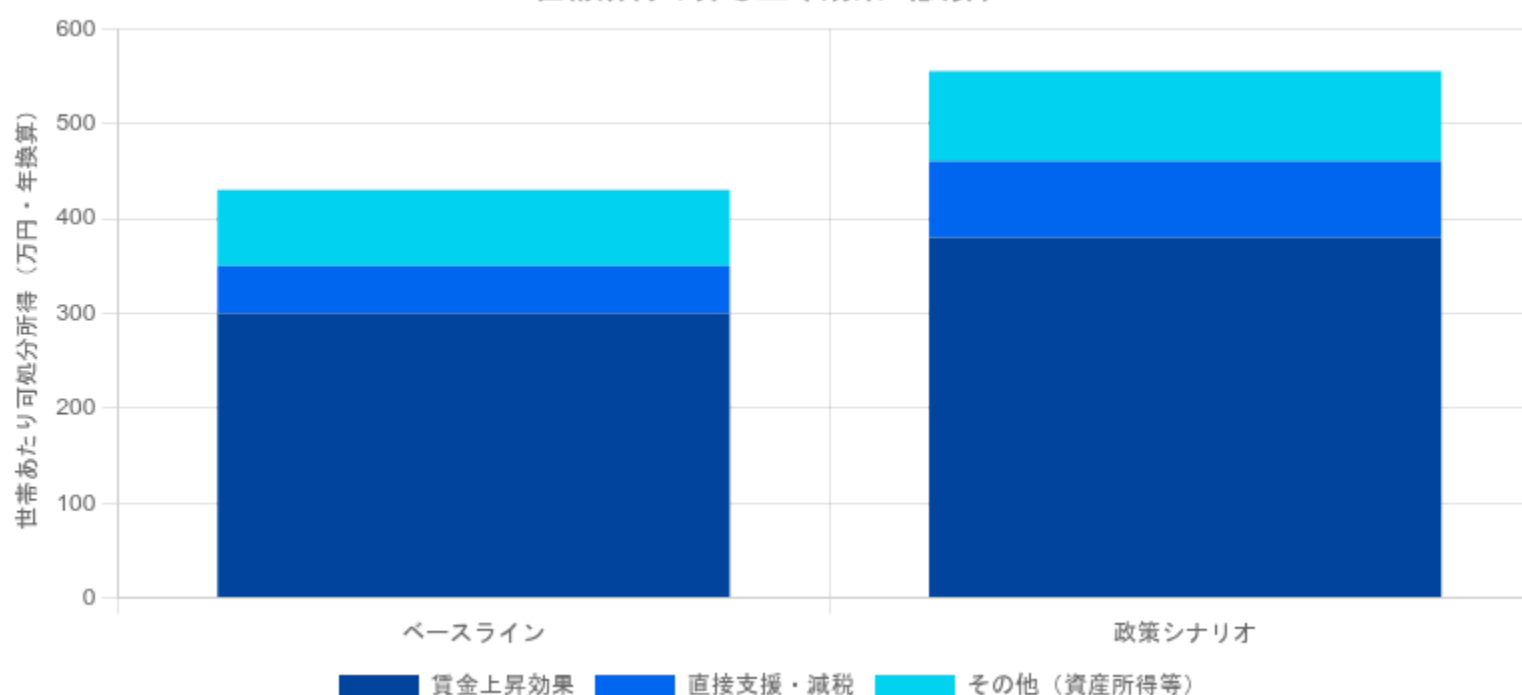
マクロ経済の好循環は、最終的に家計の可処分所得を押し上げます。名目GDPの増加（約35兆円）が、賃金上昇、雇用改善、および一部の直接支援を通じて、全国約5500万世帯に裨益すると仮定した場合の効果試算です。

+63万円

1世帯あたりの年間プラス効果（試算）

世帯所得への貢献内訳（イメージ）

世帯所得の押し上げ効果（試算）



免責事項：本インフォグラフィックは、提示された政策シナリオに基づき、特定の経済モデルと仮定を用いて作成されたシミュレーション結果です。実際の経済効果を保証するものではありません。使用データはすべて本シミュレーションのための仮定値です。

© 2025 exomusot.com/印刷・配布フリー